

永遠の中に刻む書

# 戸田提山展



「土」 1991 (平成3)

1991年11月13日水 - 12月1日日

- 午前9時—午後5時 (入館は午後4時30分まで) ○入場無料
- 初日開館/午前11時 ○休館日/11月18日(日)・25日(日)
- 主催/刈谷市・刈谷市教育委員会・中日新聞社
- 後援/愛知県教育委員会

刈谷市美術館

愛知県刈谷市住吉町4-5 ☎(0566)23-1636  
JR・名鉄「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分

永遠の中に刻む書  
**戸田提山展**



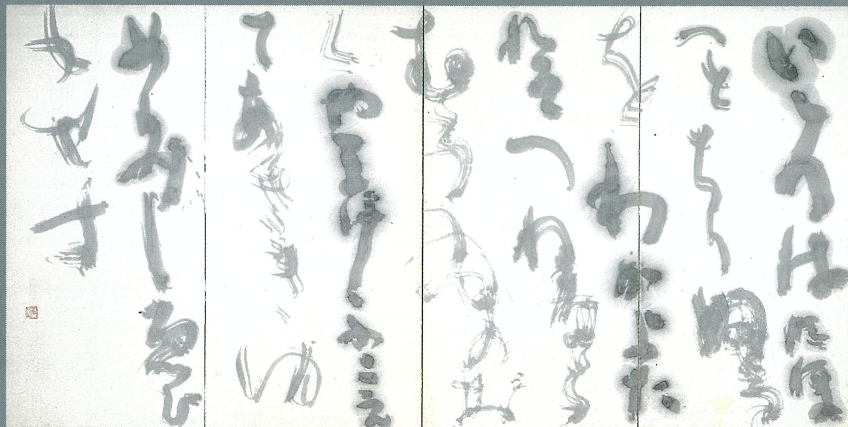
山桜花 1989(平成元)



豊(古文) 1974(昭和49)



若 1973(昭和48)



いろは歌 1966(昭和41)



月 1986(昭和61)



魁偉 1965(昭和40)

現代書の新たな可能性を追求する「少字数書」の代表作家、戸田提山氏の本格的展覧会を開催いたします。

戸田氏は大正6年安城市に生まれ、昭和12年岡崎師範学校(現・愛知教育大学)を卒業。教職につく一方、書への道を志し、手島右卿に師事しました。

昭和26年第1回日本書院展で特選を受賞。翌27年「独立書道会」(後に独立書人団と改称)の設立に参加、以後、今日までその中心的作家として活動しています。

この他にも日展、毎日書展などに意欲的に出品し、昭和27年

日展で初入選、35年には特選を受賞、平成元年には内閣総理大臣賞を受賞するなど数々の栄誉に輝きました。

また現在、独立書人団理事長、日展評議員など多くの要職について幅広く活躍、いま最も注目を浴びている作家の一人です。

近代性、国際性、創造性、伝統性の4つの観点から「少字数書」の魅力を活かすその作品は、多くの人々の心をとらえ続けています。

本展は「初期から最新の代表作品」と「野外の書」など周辺作品も含む80余点により、故郷の「土」に根ざした豊かな感性による「書之美」を紹介いたします。

**刈谷市美術館**

■所在地  
 愛知県刈谷市住吉町4-5  
 TEL (0566)23-1636

■交通案内  
 J/R東海道本線・名鉄三河線  
 「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分

